

## 令和7年度 第3回 堺市スポーツ推進審議会 会議要旨

1. 日 時 令和8年2月9日（月）午前10時00分から
2. 場 所 堺市役所本館12階 第3・4委員会室
3. 出席委員 三宅孝昭会長、神谷拓副会長、大西公彦委員、中野貴文委員、  
 淵上猛志委員、池島明子委員、石田浩史委員、泉谷浩幸委員、  
 香西千尋委員、林孝浩委員、本田奈津子委員、松井学委員、  
 森内敬司委員
4. 欠席委員 池田義枝委員、氏林勉委員、清水万理委員、名里陽委員
5. 堺市出席者 文化観光局長、スポーツ部長、スポーツ推進課長、スポーツ施設課長、  
 スポーツ推進課長補佐、スポーツ施設課長補佐、スポーツ推進課企画係長、  
 スポーツ推進課推進係長、スポーツ施設課施設係長、スポーツ施設課管理  
 係長、スポーツ施設課主査、学校保健体育課長、地域教育振興課長
6. 傍聴者 3人
7. 議 題 (1) 第4次堺市スポーツ推進プラン（案）に対するパブリックコメント  
 実施結果について  
 (2) 次期プランに基づく令和8年度の主な取組について  
 (3) その他
8. 配付資料 資料① 会議資料  
 資料② 第4次堺市スポーツ推進プラン（案）  
 資料③ 第4次堺市スポーツ推進プラン＜概要版＞（案）

### 9. 質疑応答

＜第4次堺市スポーツ推進プラン（案）に対するパブリックコメント実施結果について＞  
【淵上委員】

今後もこどもの意見を取り入れるような具体的な取組を行ってほしい。また、次の改選期には、この審議会の中にも高校生や大学生などの若者が公募委員として入ると、より活性化するのではないか。

**【事務局】**

次回委員改選時の参考にさせていただく。

**【三宅会長】**

若者の意見を聴取する機会の創出について、具体案等イメージがあるのか。

**【事務局】**

以前の審議会で意見を頂戴し、市内の小学校や中学校でアンケートを取った。今後、事業を進めていく上で、事業に参加したこどもや、少年団に所属するこどもにアンケート等で意見を聴取する予定。

**【淵上委員】**

少年団などを対象に行うこともいいが、対象がスポーツをしている子やスポーツが好きの子になり、偏ってしまうため、スポーツが苦手な子や嫌いな子がいる学校などで広く行うべきではないか。

**【事務局】**

スポーツが苦手な子、あまりスポーツをしない子の意見も聞くことで、今後の事業を検討する際の貴重なご意見とする。

**【石田委員】**

制度設計をする際などに、中学校や高校の生徒会に入ってもらいと、会議が活性化するだけでなく、こどもたちにとってもいい経験になるので、検討してほしい。

**【神谷副会長】**

部活動の地域展開について、他の自治体があまり取り組んでいない中、堺市はこどものシンポジウムを全国に先駆けて開催したという経緯がある。堺市には、そういった多様な機会が少しずつできているので是非参考にしてほしい。

**【事務局】**

参考にさせていただく。

<次期プランに基づく令和8年度の主な取組について>

**【淵上委員】**

10 ページに記載されている、ワールドマスターズゲームズ 2027 関西（以下、ワールドマスターズゲームズ）について、誘客促進と記載があるが、先に議論したスポーツ推進プランの目的から鑑みれば、観光誘客は目的ではなく、最終的には、生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現、市民へのスポーツ推進を目標とすべきではないか。

**【事務局】**

次期スポーツ推進プランの新たな視点に、スポーツツーリズムの推進を入れているため、誘客促進を資料に記載しているが、ワールドマスターズゲームズをきっかけとしたスポーツ・運動習慣の定着を図っていく。

**【淵上委員】**

スポーツツーリズムを否定するわけではないが、ワールドマスターズゲームズの開催を通して、スポーツをみる機会が増えて、最終的にスポーツを楽しむ市民が増えるといったことを目的と考えるべきではないか。

**【事務局】**

資料の書き方で誤解を招いたかもしれないが、今後も引き続きワールドマスターズゲームズを契機としたスポーツ・運動習慣の定着を目的に推進する。

**【香西委員】**

堺市ボランティアスポーツ指導者会では、ウォークラリー等の開催やニュースポーツの普及に取り組んでいるが、ウォーキングイベント事業について具体的にはどのようなことを考えているのか。

**【事務局】**

スポーツ・運動習慣者割合が低い子育て世代や、体力の低下が原因で運動ができない高齢者層を主な対象とし、市内の大型商業施設内で実施するイベント。スタンプラリー等によりゲーム性をもたせ、一定の歩数を達成した参加者にはノベルティを配付する予定。さらにこのイベントを契機に「すきま」時間でできる運動や、通勤中・買い物中にできる「ながら」運動の普及を行っていく。詳細については、今後企業等と調整。

**【香西委員】**

そのようなイベントでは、堺市ボランティアスポーツ指導者会も協力したいと思う。

**【林委員】**

イベントを実施するうえで、商業施設の理解も必要になってくると思うが、どうなっているのか。

**【事務局】**

イベントの実施について事前にいくつかの商業施設と調整を行っており、実施について問題ないと回答をもらっている。イベント実施時には一般の利用者に注意しながら開催する。

**【池島委員】**

非常にいい取組であると思うが、早く歩くことの方が普通に歩くことより効果が高いので、そのことを分かってもらう仕掛けがあればいいのではないか。また、ポスター等のみによる運動継続の促進は、運動が苦手な人にとってハードルが高いので、アプリやその他の方法によって、強度や関心度を向上させる、行動変容を促す取組も追加できればいいのではないか。

**【事務局】**

一過性のイベントで終わらせないためにも、当日来られた人のみでなく、今後商業施設に来られた人々にも、ウォーキングの効果や、他の方法での運動等を案内できるように取組を検討し、効果を向上させたいと考えている。

**【泉谷委員】**

中学校で持久走を実施する際に、走った距離が大阪市内のどこまで走ったか等を視覚化して、楽しく走れるような仕掛けを行っている。今般のイベントにおいても、アプリ等を導入し、楽しめる仕組みがあれば、面白いのではないかと考える。

**【事務局】**

参考にさせていただく。

**【三宅会長】**

他の自治体でもアプリを使用した健康促進について事例があるが、今後参考にしようと考えている自治体はあるのか。

**【事務局】**

今回は、人が多く集まる大型商業施設で、まずは買い物中における「ながら」運動として、ウォーキングを普及したいと考えている。高石市では、アプリを導入し、ウォーキングの情報発信や、ウォーキングによるポイントの取得を行っているが、今回のイベントではアプリ等の導入は想定しておらず、イベント内でのスタンプラリーなどを考えている。

**【中野委員】**

今回のイベントで「アスマイル」は使用しないのか。

**【事務局】**

アスマイルをそのまま活用することは考えていないが、ポイントの進呈については今後検討する。現在はスマートフォンに搭載されている歩数計測アプリ等の活用を予定。

**【中野委員】**

ワールドマスターズゲームズについて、認知度があまり高いとは思えないが、今後市のホームページや SNS 以外でどのような情報発信を検討しているのか。

**【事務局】**

本市実行委員会の公式アンバサダーに就任いただいている阪口夢穂さんや、堺サッカー連盟、大阪府サッカー協会などとも様々な連携を行い、周知を実施し、民間企業にも周知協力の依頼を行う予定。また、関西だけでなく、政令市にあるサッカー場、フットサル場においても、ポスターの掲示やリーフレットの配架など周知を行う予定。

**【三宅会長】**

テレビや新聞などのメディアを活用した PR は非常に効果的で、影響力が大いにあると思うが、その予定はあるのか。

**【事務局】**

12月に行われた決起集会はテレビや新聞にも取り上げられた。今後は3月から始まる一般エントリーに合わせ、新聞での広告掲載やテレビCMの放映を予定している。

**【香西委員】**

2月28日に開催予定のブラインドサッカー体験会のようなイベントを今後も実施し、堺市民に広く周知を図ることもいいのではないか。

**【事務局】**

今後もイベント等を実施し、ワールドマスターズゲームズの認知度の向上に努める。